

会 議 録

会議名	令和7年度 第2回山形市文化財保護委員会
開催日時	令和8年2月25日（水）午後1時30分～3時
開催場所	食糧会館5階会議室
出席者	委員6名 荒木志伸委員、伊藤清郎委員長、佐藤琴委員、志村直愛委員 長坂一郎委員、野口一雄委員 事務局4名 松沢文化スポーツ部長、後藤次長（兼）文化創造都市課長、 齋藤課長補佐、須藤課長補佐（兼）係長、植松文化財管理調整主幹
傍聴者等	傍聴者0名、記者0名
議 題	協議 （1）山形市文化財保存活用地域計画における取組と自己評価について 資料1 （2）市指定文化財の指定に係る諮問について 資料2 （3）登録有形文化財への提案について 資料3
資 料	資料1 成果指標の達成状況について 資料1－2、3 文化財の保存・活用に関する取組 ―成果・課題と今後の方向性― 資料2 市指定文化財の指定に係る諮問について 資料3 登録有形文化財への提案について

会議経過

- 1 開会（齋藤課長補佐）
- 2 委員長あいさつ（伊藤委員長）
- 3 協議

※山形市文化財保護条例第50条第2項の規定により伊藤委員長が議長となり、進行。

- （1）山形市文化財保存活用地域計画における取組と自己評価について

※事務局から説明（資料1について）

委員長 地域計画が文化庁より認定されて1年と少し経過しました。ただいまの説明について、委員の皆様ご意見ありましたらお願いします。

委 員 資料1の表の見方について、令和7年度の欄は単年度の数値で、その右隣の欄は令和7～11年度のトータルの数値という見方でよいですか。

事務局 はい。

- 委員 私も関わっているデジタルアーカイブ化の推進ですが、山形市郷土館の資料は現時点で452点掲載されています。昨年2月に作業したものを入れた数値です。
- 委員 デジタルアーカイブの閲覧数はカウントしているのですか。
- 委員 山形アーカイブでは閲覧数のカウントはしておらず、アーカイブを利用したいという問合せや周りからの評判を指標にしています。閲覧や活用されていることは掲載の問合せや評判が直接届いていることで分かりますのでカウントの設定はしていません。
- 委員 一般の人が閲覧するのであれば、どの位見られているかのカウント数は必要ではないでしょうか。
- 委員 国立国会図書館で運用しているジャパンサーチも閲覧数は公開していないはずですが。閲覧数よりも、問合せがあることや活用されていることを評価するというのが主流になっています。
- 委員長 閲覧数はすぐ出せるのですか。
- 委員 設定をしないとできません。ただ、何件閲覧されれば評価が高いというわけでもないですし、多くの方が閲覧し利用されていることや直接問合せがきていること、評判が直接こちらに届いていることを活用されている証拠として、文化庁に報告しています。活用の例をあげると、山形銀行がやっているデジタルスタンプラリーの案内にも、相手側から掲載依頼を受けて利用されているなど、様々な形で利用されています。
- 委員 どういう考え方が正しいのかよく分かりませんが、それでは自己満足にすぎない気がします。また、デジタルアーカイブは文化庁や博物館など色々な機関でやっていますが、内容のレベルの差が大きいと感じています。特に自治体の文化財に関するデジタルアーカイブは使えないものが多く、デジタルアーカイブ全体として考えるべき問題と思っています。
- 委員長 アーカイブの閲覧数を当面は追及しないことは了承いただけますか。
- 委員 そういう考え方もあることは分かります。
- 委員 デジタルアーカイブは、予算や人的資源などの要素で違いが出てくると思います。閲覧数をカウントしないとしても、どういう活用をされているか、どういう場面で活用してほしいかなど、デジタルアーカイブ化の現段階の山形市としての方針がどのようなものか教えていただきたいです。
- 事務局 デジタルアーカイブ化に関しては、委員が関わっている山形アーカイブのプラットフォームを利用している形です。元々は山形市郷土館で所蔵している資料の活用をメインに考えて実施しているもので、特に需要が多い山形城の図面や近代以降の街並みが分かる写真や地図など、郷土館に来館しないと見られないような資料を山形アーカイブで公開していただいています。マスコミや出版社からの問合せがあり、確実に閲覧ならびに利用されている実感があります。
- 委員 どちらかといえば活用のニーズがあり、山形アーカイブに掲載しているということでしょうか。
- 事務局 はい。

委員 委員が仰ったデジタルアーカイブは、さらに広く多岐にわたるものを考えてのご意見であると思います。また、どこに発信していくかを考えると、カウンターの設定はしなくても、どういう傾向があるのかを分析しながら進めていただければと思いました。

もう一つ、資料1-2、3にある山寺の防災施設の整備事業は具体的にどのようなことをしたのか教えてください。

事務局 令和6、7年度の2カ年かけて、国庫補助事業で根本中堂周辺の防災施設の更新事業を実施したものです。

委員 分かりました。今後、奥の院や名勝エリアにある建物の防災施設を整備するとなるとさらに大変になると感じていますし、私も現地に行くと、「防災や緊急搬送道路の必要性を20年位前から言っているが誰も動いてくれない」と塔頭寺院の方々が仰っているのを聞きますので、そのような段階がきましたら盛り込んでいただきたいと思います。

事務局 今のご意見ですが、資料1-3 イ 54「国指定名勝史跡山寺の防災施設更新の調整」が、その取組になります。先行して根本中堂周辺の防災施設の更新を実施し、今年度で完了予定ですが、その後、名勝エリアの更新もやりたいという意向を住職がお持ちですので、その意味で「山寺の防災施設更新の調整」の取組みを挙げています。名勝部分は所有者が立石寺だけでなく、中性院などの支院もあり、そことの調整も必要です。また、山寺は山形県が管理団体ですので、本来的には県が主体となって事業を進めることとなります。所有者、管理団体である山形県と市が調整しながら、今後どのような形で進めるか検討させていただければと思います。

委員長 防災だけでなく防犯対策も必要です。特に最上義光公の御霊屋なども心配です。

事務局 今回の根本中堂の防災施設更新では防犯用カメラも設置し、何かあれば住職や副住職のスマホに通知が届くような措置を取っていただきました。今後、名勝部分も実施するとなれば、所有者のご意見も踏まえながら、防犯対策も一緒に実施できるよう検討する形になると思います。

委員長 デジタルアーカイブ化に関していただいたご意見は事務局でご検討ください。

事務局 いただいたご意見を踏まえ、デジタルアーカイブを今後どう活用していくか考え方を整理してまいります。

(2) 市指定文化財の指定に係る諮問について

※事務局及び委員長から説明（資料2について）

委員長 ご質問等あればお伺いします。

事務局 資料5ページの員数について、6点と記載しておりますが、4ページの員数と同じく1件に訂正お願いします。

委員長 他に意見がないようであれば、最上家関係書状について追加指定にふさわしいとして答申してよろしいですか。

委員一同 ー了承ー

(3) 登録有形文化財への提案について

※事務局及び委員から説明（資料3について）

委員長 12月に現地を視察し、外から見ただけでは分かりませんでした。実際中に入るとこんなに素晴らしい建物があったのかと思いました。望楼にのぼって見える市街地もすごい景観でしたが、登録文化財への提案についてご質問等あればお願いします。

委員 今後の市としての動きを教えてください。

事務局 令和12年度に買取りが完了するので、リノベーション工事はそれ以降になりますが、それまでの間、具体的な活用方法についてワークショップ等をしながら様々な方のご意見を聞き検討を進めていきたいと考えています。また、その間、活用しないのはもったいないので、来年度からは旧吉池医院の様々な活用をしてきた団体と連携しながら、公開や建物内での文化的な活動など、これまで同様の活用を検討していきます。

委員 登録文化財になると、これまで中で展示されていた建築家の紹介パネルなどは撤去するのですか。

事務局 現在のところ、近代建築山形ミュージアム委員会で使用していた展示パネルは残っている状態です。今後の利活用の検討で撤去してもらう可能性はありますがまだはっきりしていません。

委員 あれはあれで面白いパネルでした。

委員 ミュージアム委員会の関係者としてはそのまま使っていただいても構いません。

委員 登録文化財は、内部を建築当初の姿を見せなければならないなどの規制はないのですか。

委員 そのような規制は登録有形文化財にはありません。私が気になるのは、建物が登録されますが、中にある流し台などの器具やしつらえにも貴重なものがあるので、その扱いをきちんと整理し、保存できれば良いと思います。

委員長 それでは旧吉池医院について、国の登録有形文化財にふさわしいとして市として登録提案してよろしいですか。

委員一同 一了承一

4 その他

委員長 その他、何かありますでしょうか

委員 情報としてお伝えします。七日町に長源寺という鳥居氏ゆかりのお寺があります。その本堂はコンクリート造で、階段を上ったところに鰻絵もあります。コンクリート造の建物としては、国の登録有形文化財の旧市島銃砲店が昭和元年の建築ですが、長源寺本堂は大正13年の建築だそうですので建物そのものが市島銃砲店よりも古く、山形市内でも最も古い建築かもしれません。その建物に鰻絵があり、その作者が大石田町出身の後藤市蔵です。後藤市蔵は大石田町では著名な職人で

銀山温泉の旅館の鰻絵なども手掛けています。このような貴重な建物にもっと光をあてて紹介していく必要があると思います。また、長源寺には銅町の鋳物師が製作した梵鐘があります。河北町の長楽寺にも同じ鋳物師の梵鐘が伝わっており、町の有形文化財（工芸品）に指定されています。長源寺の梵鐘は寛文十一年（1671）の作品で、山形鋳物師が製作した梵鐘としては最も古いものかもしれません。令和5年に指定した山寺立石寺奥之院の大灯籠は明治時代の作品ですので、今後委員の皆さんで見学する機会を設けても良いのではと思います。紹介しました。

委員長 事務局はぜひ確認していただきたいと思います。吉池医院にも鰻絵がありましたね。

委員 あります。もしかしたら作者が関係しているかもしれませんね。

委員長 色々つながってきますね。貴重なご意見ありがとうございました。それでは他にご意見なければ終了いたします。

5 閉会（齋藤課長補佐）

以上